



2022年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社 K e y H o l d e r
代 表 者 名 代表取締役社長 赤 塚 善 洋
(証券コード番号 4 7 1 2 ・ JASDAQ)
問 い 合 せ 先 専 務 取 締 役 大 出 悠 史
電 話 番 号 0 3 - 5 8 4 3 - 8 8 8 8

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

本日付け「2021年12月期決算短信〔IFRS〕（連結）」において、2021年8月12日に公表いたしました2021年12月期の通期連結業績予想と実績値との間に差異が発生いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期 通期連結業績予想との差異（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期利益
前回発表予想（A）	百万円 16,000	百万円 1,400	百万円 1,000	円 銭 57.71
今回発表実績（B）	16,786	743	461	26.53
増減額（B - A）	+786	△657	△539	—
増減率（％）	+4.91	△46.93	△53.90	—

2. 差異の理由

売上収益におきましては、まず総合エンターテインメント事業においてコロナ禍による活動自粛やイベント等の開催延期・中止・規模縮小による影響を受けたものの、株式会社ノース・リバーの業績が計画比で好調に推移したことや、今期から開始した株式会社 allfuz で展開しているアーティスト等の映像制作において好調に推移したことで、計画比約470百万円のプラスとなりましたほか、映像制作事業では、既存の制作案件を堅実に積み上げたことにより、計画比約20百万円のプラスとなりました。また、広告代理店事業では、2月に開始したデジタル広告事業が好調に推移したことにより、計画比約300百万円のプラスとなったことなどにより、全体で786百万円プラスの16,786百万円となりました。

営業利益につきましては、広告代理店事業における新規事業が好調に推移したことで計画比約120

百万円のプラスとなりました。しかしながら、総合エンターテインメント事業では、ツアー等の開催は概ね想定通り実施できたものの、会場ごとにおける動員数制限の影響によって開催コストを補うまでに至らなかったことや、持分法により取り込んでいる投資利益の下期以降の予測で下振れしたことに加え、原盤印税の減少等により、計画比約 750 百万円のマイナスとなりました。また、映像制作事業におきましては、利益率の高い番組が減少したことなどにより計画比約 120 百万円のマイナスとなりました。その他事業におきましても、不動産賃貸の賃料収入が減少いたしましたことなどにより計画比約 100 百万円のマイナスとなり、また、その他販管費等につきましては、コストコントロールを積極的に行いましたことで、計画比約 200 百万円のコストカットとなりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益では、投資有価証券の売却に係る利益 244 百万円を計上したものの、各セグメントの計画未達の影響を補うには至らず、計画比 539 百万円マイナスの 461 百万円となりました。

以 上